

車検ネットワークシステム導入で 生産効率と付加価値の向上計画



成果

事務処理を含めてリードタイム短縮。 国交省 OSS へも移行できる体制を

1台の検査時間10分+記録簿作成5分。新しい設備を導入した後のリードタイムは15分です。車検の受入台数に余裕が生まれて他の業務へ人員を適宜、割り振れます。進捗をリアルタイムで監視でき、車検機器とコンピュータのオンライン化によるデータ蓄積・出力処理でヒューマンエラーが皆無となるのも確認できました。記録簿作成は手書き入力、パソコンへの手入力が省略されるので約13分のリードタイム短縮です。さらに整備業システム（ソフトウェア）を取り入れて、顧客管理・履歴管理データベースを構築。ユーザーへの新サービス提案、車検レポート勧誘などに活用しています。全体として国土交通省のOSS（ワンストップサービス）へ移行できる体制で、同業者に先駆けて将来を見据えます。

今後の展望 Future outlook

地域密着で新たな受注も獲得。カギを握るのは、サービスの見える化

このたびの設備導入は県内の協業組合では先駆けて、県中・県南地域では新規の取り組みです。少子高齢化・若者のクルマ離れなどで自動車保有台数は減り、受注を増やすのは容易ではありませんが、効率化と付加価値の向上を軸に、地域密着で新たな受注も獲得していく考えです。そのためには顧客ニーズの把握に努め、価格と内容の透明化、立ち会い車検のようなサービスの見える化を通して販売プロセスを構築・提供していく姿勢が大切です。国土交通省「自動車保有関係手続のワンストップサービス（OSS）」は、車検に付随する手続をオンライン一括で行えるようにするもの。このような業界の変化にも対応できる体制づくりと並行し、組合員相互の結束を固めていきます。



課題

IT化の充実を図り、競合対策および業務を刷新するチャンスと捉える

完成検査（車検）は専用機器であるテスターを使い、検査員がデータを目視で確かめて合否判定を下していました。その際に書類・伝票の処理は手作業でヒューマンエラーが起きやすく、帳票への誤記入などでリードタイムが延びます。短時間車検のように、スピードをアピールする競合他社への対策が必須でした。IT化の遅れも目立ち、車検の記録簿作成や納品・請求書の一括発行、さらに顧客管理やユーザーへの情報提供などで革新が急がれました。価格やサービスの見える化、高付加価値化を通じた顧客満足度に関しても競争力を高める契機と捉え、顧客拡大を目指しました。

実施内容

完成検査（車検）の自動化を進め指定工場としてコンプライアンス向上

車検業務効率化システムを導入しました。ヘッドライトなどのテスターをコンピュータと接続し、測定および合否判定の自動化を推進。作業リードタイムの短縮を図りました。また入庫から点検、整備、完成検査、そして記録簿・保安安全適合証の作成をシステム化。検査業務の流れを合理化・効率化しつつ正確さを高めました。ユーザーに高付加価値サービスを提供したり、次回車検へのリピートを促したりすることも大切です。そこで顧客管理・履歴管理を行うデータベース構築に向けてソフトウェアを購入しました。質の高い完成検査をユーザーへ提供するとともに指定工場として、コンプライアンス向上を目的に掲げています。

主な事業内容

組合員事業所から受託した定期点検整備・完成検査・損害賠償保険代理業務がメインです。車検整備および検査業務の協業化を図り、生産性の向上を目的に地方運輸局長から認可を受けて設立されました。運輸支局と同様な検査ラインを自社工場に有し、完成検査を受けられる地域密着型の事業展開です。ハイテク化や外国車の増加に対応して最新のスキャンツールを備え、技術者の育成にも取り組んでいます。

Company introduction

共栄自動車整備協業組合

〒963-7823

福島県石川郡石川町字王子平164

TEL 0247-26-3551 FAX 0247-26-7368

代表者 理事長 曲山 恭彦

出資金 1,430万円

設立 1973年（昭和48年）5月1日

従業員 8名

E-mail kyoei.s@basil.ocn.ne.jp